

平成21年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
海岸事業	8	宇治山田海岸	伊勢市		<p>【全体事業概要】</p> <p>堤防工 : 3,518m 突堤工 : 5基 養浜工 : 12万m<sup>3</sup></p> <p>【目的】 当地区の海岸堤防は伊勢湾台風による被災を契機に昭和36年までに築造されましたが、築後50年近くが経過していることから施設本体の老朽化が進んでおり、また近年の河川からの土砂の供給が減少していることなどから、砂浜が侵食を受け汀線は大きく後退してきています。このようなことから、台風などの高波時には防護効果の低下により波が堤防を越える被害が発生するなど、背後の旅館街及び人家の安全が危惧される状況となっています。そのため本事業では、海岸侵食の進行を防止し海浜の安定を図ると共に、波浪や高潮などによる浸水を未然に防ぎ、背後地の生命・財産を守ることが目的に、事業を進めています。</p>	H12	5,694.0	13.9%	<p>【整備済み内容】</p> <p>堤防工 : 180m 突堤工 : 2基 養浜工 : 1万m<sup>3</sup></p> <p>【次年度以降の内容】</p> <p>堤防工 : 3,338m 突堤工 : 3基 養浜工 : 11万m<sup>3</sup></p>	<p>【社会的状況の変化】</p> <p>宇治山田港海岸は、古くから夫婦岩(めおといわ)で名高く、白砂青松の名勝地「二見浦」として全国的に広く知られており、平成18年7月には国指定名勝に指定されました。</p> <p>また当地域は伊勢志摩国立公園の特別地域に指定されており、明治15年には日本初の国指定海水浴場に、平成8年には「日本の渚100選」に選ばれています。</p> <p>しかし、近年は海岸の侵食が著しく、海岸背後地の安全度も年々低下しており、甚大な被害をもたらす可能性が高いことから、事業の必要性及びその整備促進を求める気運は一層高まっています。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>B/C = 33.5</p> <p>【コスト縮減】</p> <p>突堤天端は遊歩道としての機能を有しており、当初計画においては石張舗装として計画していましたが、工事実施の際はコンクリート洗出し舗装に見直すことでコスト縮減を図っています。</p> <p>【代替案】</p> <p>海岸保全施設については、線的防護方式又は面的防護方式による整備が考えられますが、線的防護方式を採用した場合は既設堤防の高上げと堤防前面に消波ブロックの設置等が必要となります。しかしながら、背後の社会環境(夫婦岩表参道、旅館街)等を考慮すると自然景観を阻害する線的防護方式は好ましくありません。</p> <p>また、当地区のように侵食により越波が生じている海岸の場合、近年の海岸整備においては、高波を強制的に砕波させる工法を組み合わせる面的防護方式が最適であることから、当海岸において代替案は考えられず、現計画を進めることが妥当であると判断しています。</p>	<p>【今後の見通し】</p> <p>厳しい財政状況ですが地元の要望も強く、平成34年度の完成を目指し引き続き事業を推進していきます。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。</p> <p>今後、周辺環境や多様な利用形態に配慮しつつ、計画どおりに防災効果が発現されるよう事業を進められたい。</p>
						H34	5,694.0	13.9%					